

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

四半期業務報告書 （2024年度 第3四半期）

2024 年 12 月



三浦下水道コンセッション株式会社

目次

1.事業実施状況	1
1-1.事業概要	1
1-2.運営体制	2
1-3.内部統制	5
2.業務実施状況	6
2-1.経営に関する実績	6
(1) 環境対策	6
2-2.改築及び増築に関する実績	6
(1) 土木建築工事	6
(2) 電気・機械工事	7
(3) 管路施設工事	8
(4) 第2期改築計画の策定	8
(5) 増築	8
2-3.維持管理に関する計画	9
(1) 処理場・ポンプ場の維持管理	9
(2) 管路の維持管理	10
2-4.地域貢献に関する計画	11
(1) 地域貢献	11
(2) 広報活動実施計画	11
(3) 地元企業の利活用に関する事項	11
2-5.任意事業に関する計画	12
(1) 下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業	12
(2) B-DASHを活用した省エネ水処理技術導入	12
(3) 技術実証フィールドの提供	12
3.財務管理	13
3-1.財務状況	13
3-2.2024年度KPI（財務管理目標値）の状況	13
4.2024年度第3四半期時点でのKPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況	14

1.事業実施状況

1-1.事業概要

1. 事業名称

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

2. 施設の規模等

（1）1日当たり処理能力

8,050 m³

（2）管路の総延長

59 km

（3）処理区域

三浦市東部処理区



図 1-1.三浦市公共下水道（東部処理区）事業エリア

1-2.運営体制

運営体制は以下の通り。

(1) 運営管理体制の強化

昨年度構築した運営管理体制をより強化するため、今年度は次の6点に取り組んでおり、進捗は以下のとおり。

① 体制変更の定着による業務改善

前四半期に続き、各技術部間、管理部・各技術部間でのクロスチェック、統括責任者のダブルチェックを実施し、チェック体制強化の定着を図った。

② 業務の標準化

積算業務のマニュアルの更新に取り組み、業務の標準化を目指している。

③ 運営管理経験者による担当職員の研修育成

運営管理経験者が、主にOJTにより日常的にノウハウの共有を行い、職員の育成を図った。
第2四半期に続き、総務経理の業務につき、勉強会を継続して実施している。

④ 管理部業務のマニュアル化

経理業務のマニュアルを作成し、担当変更に伴う引継ぎ時間の短縮を図っている。
また、契約業務のマニュアルを作成した。

⑤ 地元企業等の育成支援として、当社及び株主企業による研修・訓練プログラムの実施

地元企業等に向けた専門業者による下水管調査の研修を10/8に実施した。

⑥ 遠隔監視システム、水質自動制御システムなどのICT投資による業務の効率化

遠隔監視システムは機器の製作を進めており、1月に工事着手を予定し、第4四半期に工事完了見込みである。

水質自動制御システムは、10月に工事着手、11月に工事完了した。送風量自動制御については、送風機設備を更新した後、実運用を開始する。送風機の更新までの期間は、システムの出力結果を手動での運転操作の参考とする。

引き続きデジタル情報基盤の導入整備を進めており、タブレット端末による日常点検データを蓄積し今後の予防保全と設備健全度の判定に活用する予定である。

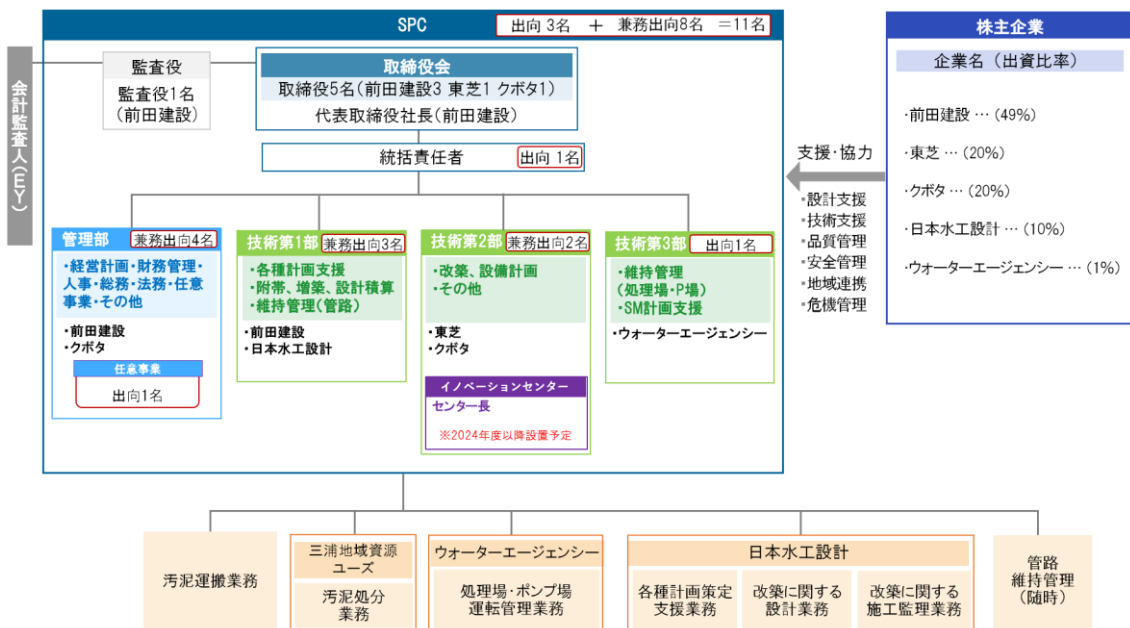


図 1-2.三浦下水道コンセッション株式会社の組織体制



図 1-3.株主企業の責任・役割

(2) 災害時・緊急事態発生時の防災体制

災害時や緊急事態の発生時には、構成員・地元企業等との一体的な対応体制を構築し、復旧活動の対応を行う。巨大地震やその影響による津波、台風や、豪雨等による高波、高潮等を想定し、三浦市 BCP 及び国交省下水道 BCP 策定マニュアルを踏まえ策定した本事業の BCP を、いつ発動させても対応が可能な状態を維持する。

実施予定の各種訓練の実施状況は以下のとおりである。

訓練名称	訓練内容	予定 時期	実施済
BCP 教育訓練	講習会等を開催し、BCP の位置付けや内容及び活用方法についての MSC 職員の理解促進を図るとともに、BCP の見直しに向けた意見収集の場として活用する。	4 月	○ (5/14)
安否確認 訓練	・MSC 職員は、携帯電話やメール等により安否を連絡 ・安否確認担当者は、安否確認の回答をとりまとめ	4 月	○ (5/28)
参集訓練	・地震（震度 6 強）を想定した SPC 社員の非常参集 ・勤務時間外（早朝 7 時あたり）に、震度 6 強の地震が発生し、市内交通機関が利用できない状況を想定し、MSC 職員が自宅や通勤途中から徒歩又は自転車により東部浄化センターに参集または移動経路を確認する訓練	9 月	○ (9/27)
BCP 対応 訓練	・株主企業である前田建設の BCP 訓練に参加。 ・安否確認担当者は、安否確認の回答をとりまとめ。	11 月	○ (11/22)
図上訓練	・非常時対応計画等の対応手順等、訓練シナリオを事前に提示して、手順通りに対応を行う ・処理場、ポンプ場維持管理業務委託業者と合同訓練を実施	2 月	○ (9/19)
実地訓練	・東部浄化センター、金田中継センターにおける緊急点検調査及び措置における実地訓練	9 月	○ (9/19)
	・管路の緊急点検調査及び措置の実地訓練		○ (9/19)
情報伝達 訓練	・市下水道対策本部と SPC 災害対策本部との情報伝達訓練 ・構成企業、委託業者との情報伝達訓練	2 月	—

（３）委託等の実績

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業 年度経営計画書（2024（令和 6）年度）
（以下、「2024 年度経営計画」とする。）に記載の通り、下記企業に業務委託を行った。

運転管理業務委託	：(株)ウォーターエージェンシー
計画策定支援委託、設計施工監理業務委託	：日本水工設計(株)
汚泥処分業務委託	：三浦地域資源ユーズ(株)
汚泥収集運搬業務委託	：田中石材土木(株)
管路維持管理委託	：(株)管清工業、(株)ウォーターエージェンシー

1-3.内部統制

内部統制の基本方針、企業行動憲章を定め、内部通報窓口を設置。

また、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと、企業倫理に優れた内部統制として管理部と技術部（3部門へ分掌）を設置。

- ・1次モニタリングとして、業務改善会議（1次）を毎月実施。
- ・2次モニタリングとして、第3四半期業務改善会議（2次）を1月に実施予定。

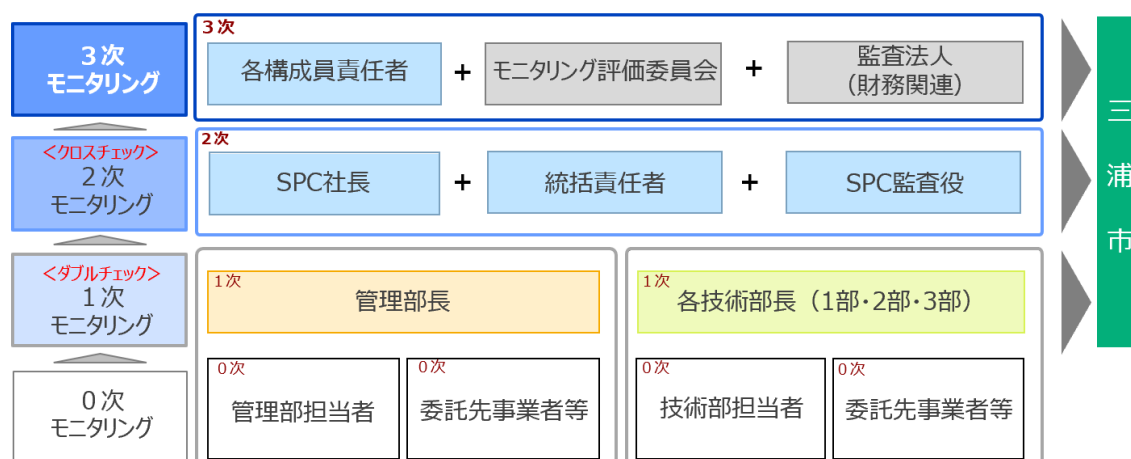


図 1-4.セルフモニタリング体制図

会社法、社内規程に基づき取締役会を実施した。

- ・取締役会を10月に2回（10/9、10/30）、12月に2回実施(12/9、12/24)

2.業務実施状況

2024 年度経営計画で策定した計画の実施状況は以下の通り。

なお、後述する各節で示す計画と実績の凡例については、以下のとおり。

【凡例】

計画：2024 年度経営計画で策定した計画

実績：2024 年度第 3 四半期の実績

今後：2024 年第 4 四半期の実施予定

2-1.経営に関する実績

(1)環境対策

6 月より稼働を開始している太陽光発電設備について、東部浄化センターの消費電力のうち、約 22%を賄っている。

計画	計画予測値の精度を実測検証することにより定量的に電力購入量の削減効果をモニタリングする
実績及び今後	6 月～12 月の東部浄化センターの消費電力を、太陽光発電により約 22%を賄った引き続き電力購入量の削減効果をモニタリングし、年度で約 20%の購入電力量減の想定を達成できるか確認していく

2-2.改築及び増築に関する実績

(1)土木建築工事

土木建築工事について、計画に対しての第 3 四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。また、下記工事（(1)-1.3.4.5）に付随した施工監理業務の委託は行わず MSC で施工監理を行う予定である。

工事対象			備 考	第 3 四半期の実績 及び今後の見込み
東部浄化センター				
1	管理本館	土木内部	マンホール蓋φ600 (4 箇所) の交換	第 4 四半期発注予定 備考:(1)-1.3.4.5 について、 まとめて契約する
2	地下オイル タンク	地下オイルタンク	自家発電設備の更新に 伴い不要となった地下オイル タンクの処分	進行中の自家発電設備更新 工事内で残置とし、別途の工 事を行わない
3	汚泥処理棟	土木内部	マンホール蓋φ600 (1 箇所) の交換	第 4 四半期発注予定 備考：(1)-1.3.4.5 について、 まとめて契約する
4	1 系水処理	土木内部	マンホール蓋φ600 (17 箇所) の交換	
5	2 系水処理	土木内部	マンホール蓋φ600 (1 箇所) の交換	

工事対象			備 考	第 3 四半期の実績 及び今後の見込み
金田中継センター			工事予定なし	
マンホールポンプ（MP）等				
6	下宮田 3 号 ポンプ室	建築・土木付帯	内装（グラスウール）の更新	第 2 四半期に発注済み 第 3 四半期に市検査を受検し 完成済み 備考:左記 2 工事は、まとめて 契約した
7		建築設備	圧力扇（ファン）、給水管の更新	

(2)電気・機械工事

電気・機械工事について、計画に対しての第 3 四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。また、下記工事（5・6）に付随した施工監理業務委託は日本水工設計（株）に発注した。

工事対象			備 考	第 3 四半期の実績 及び今後の見込み
東部浄化センター				
1	管理棟	自家発電ユニット	設備更新。 2 ヶ年工事の 2 年目。	進捗：施工中 完成：第 4 四半期予定
2		監視装置ユニット （附帯提案事業）	遠隔監視システム導入。 2 ヶ年工事の 2 年目。	本工事は 3 契約に分けており、 各工事の状況は以下のとおり ① 監視その 1 工事 進捗：機器工場検査完了 完成：第 4 四半期予定 ② 監視その 2 工事 進捗：機器製作中 完成：第 4 四半期予定 ③ 監視その 3 工事 発注：1 月上旬予定 完成：第 4 四半期予定
3	水処理棟	凝集剤添加ユニット （附帯提案事業）	新設。放流水質の安定化 に寄与するもの。	発注：1 月上旬予定 完成：第 4 四半期予定
金田中継センター				
4	監視制御	監視制御ユニット 2 （ポンプ場）	設備更新。 2 ヶ年工事の 2 年目。	進捗：機器製作完了 完成：第 4 四半期予定
5	上宮田 2 号 MP	電気設備	設備更新。	進捗：機器製作中 完成：第 4 四半期予定 備考：左記 2 工事は、1 つの 工事に纏め、発注する
6	上宮田 4 号 MP	電気設備	設備更新。	
7	下宮田 3 号ポンプ室	自家発電ユニット	設備更新。 2 ヶ年工事の 2 年目。	

(3) 管路施設工事

管路施設工事について、計画に対しての第3四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。なお、マンホールポンプ（MP）については、（2）電気・機械工事に含めて掲載している。

下記工事（4を除く）に付随した施工監理業務委託を日本水工設計（株）へ発注した。

工事対象		備 考	第3四半期の実績 及び今後の見込み
管路施設			
1	本管	布設替え：約 50 m	今年度は実施見送り （調査結果に基づく緊急度判定等より、急を要しないと判断）
2		管更生：約 150 m	第3四半期に発注済み
3	マンホール	蓋交換：52 箇所	第3四半期に発注済み(40 箇所分) 残り 12 箇所分については第4四半期に追加発注予定
4	マンホール	蓋交換：9 箇所	第2四半期に発注済み 第3四半期に市検査を受検し完成済み

(4) 第2期改築計画の策定

第3四半期は、委託先の日本水工設計（株）にてストックマネジメント計画を策定中である。

計画	今年度までに三浦市と調整して策定
実績及び今後	点検調査計画、修繕改築計画を策定 1 1 月末までに提出が求められていたストックマネジメント申請書（案）について、追加資料の整理中 1 月に下水道事業計画変更届をとりまとめ、県へ申請予定

(5) 増築

増築について、計画に対しての第3四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。

第3四半期は、工事1件を契約した。

計画	下記2件の工事を実施予定 ・令和5年度金田岩浦地区枝線管渠増築工事 ・令和6年度金田岩浦地区マンホールポンプ設置工事 下記1件の設計業務を実施予定（工事は令和7年度予定） ・令和6年度上宮田・下宮田地区枝線管渠増築工事詳細設計業務
実績及び今後	実績として、第3四半期に以下1案件を契約締結した ・令和6年度金田岩浦地区マンホールポンプ設置工事 工事2件、設計業務1件はいずれも第4四半期に完了予定

2-3.維持管理に関する計画

(1)処理場・ポンプ場の維持管理

処理場・ポンプ場の維持管理は、運営開始以前も本施設の運転管理を担ってきた（株）ウォーターエージェンシーに委託をしている。

計画	(1) 体制 ・昨年度に引き続き、(株)ウォーターエージェンシーに委託 ・遠隔監視システムや凝集剤添加設備設置工事の実施 (2) 水質管理 ・放流水質基準の遵守 ・水処理設備への計測装置や制御装置の設置 (3) 汚泥管理 ・脱水ケーキ発生量の軽減、また悪臭等の苦情原因とならないよう、脱水汚泥の含水率を 79%以下とする (4) 保守点検 ・昨年度に導入した維持管理支援ツール、デジタル情報基盤を活用し、日々の点検・調査結果や故障・修繕履歴、消耗品保管状況等を集約管理 ・集約した維持管理データを可視化し、機器の異常傾向など設備状態の見える化を図り、より効果的な修繕計画を立案・実行 ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュールどおりに点検 (5) 労働衛生管理 ・「労働災害ゼロ」「車両事故ゼロ」を目指すために、日常からの安全衛生教育と年 1 回安全パトロールを実施 ・発注工事において、株主企業による安全パトロールを実施 (6) エネルギー管理 ・年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減を実施
実績及び今後	(1) 体制 ・昨年度に引き続き、(株)ウォーターエージェンシーに委託している ・遠隔監視システム及び凝集剤添加設備設置工事を第 4 四半期に完了予定 (2) 水質管理 ・放流水質基準未達なし ・水質自動制御システムの計測・制御装置の設置が完了 (3) 汚泥管理 ・脱水汚泥の含水率について、79%以下を達成 ・引き続き、脱水汚泥の含水率を 79%以下とする (4) 保守点検

	・日々の点検に維持管理支援ツールを活用し、情報を集約 ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュール通りに点検を実施 ・昨年度に導入したデジタル情報基盤を活用し、故障・修繕履歴、消耗品保管状況等を集約管理する予定 ・集約した維持管理データを可視化し、機器の異常傾向など設備状態の見える化を図り、より効果的な修繕計画を立案・実行を検討する ・年度経営計画書に記載の保守点検スケジュール通りに点検を実施予定 (5) 労働衛生管理 ・「労働災害ゼロ」「車両事故ゼロ」を目指すために、日常からの安全衛生教育を実施 ・発注工事において、株主企業による安全パトロールを 10/7、11/18、12/6 に実施 (6) エネルギー管理 ・年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減を実施（太陽光発電） ・引き続き年度維持管理計画書に記載のエネルギー削減の達成を目指す
--	--

(2) 管路の維持管理

管路維持管理について、計画に対しての第3四半期の実績及び今後の見込みは下記のとおりである。なお、2024年6月に計画の見直しを行っている。

維持管理項目			2024 年度計画 （6 月見直し）	第 3 四半期の実績 及び今後の見込み
管きょ点検				
	点検	マンホール蓋点検工	—	8 月に契約を締結 第 3 四半期に現地作 業を実施し完了 第 4 四半期にかけ追加 調査の必要性を確認予 定
		マンホール目視点検工	95 基	
		管口カメラ	—	
	スクリーニング 調査	φ450 以下	763 m	
		φ500～φ700	2,778 m	
		φ800 以上	2,058 m	
維持修繕				
	巡視		11.5 km	第 3 四半期に現地作 業を実施し完了
	伏越し清掃		—	
	本管修繕		—	—
	マンホール修繕		22 箇所	現地施工完了
	公共ます修繕		—	—

第2及び第3四半期に新たに発生した突発修繕業務はなかった。第1四半期に発生した3件の突発修繕業務については第2四半期までにすべて対応完了している。

第3四半期中の住民通報は下記2件あり、いずれも対応完了している。

・住民苦情：管きょ点検調査中に委託会社が民地に立ち入り草花を倒した

：即日謝罪し理解を得た。再発防止のため、委託会社に指導を行った。

・公共汚水桝蓋の亀裂：新規蓋を手配し納品済み（取替えはマンション管理会社で実施）

2-4.地域貢献に関する計画

(1)地域貢献

第3四半期は、11/17に潮風アリーナで開催されたみうら市民まつりに出展した。

計画	① 職員による東部浄化センター周辺の海辺の清掃活動を実施 ② 三浦地域で開催されるイベントへ参加し、本事業のPR活動を実施
実績及び今後	① 6/7に清掃活動を実施 ② 11/17に開催されたみうら市民まつりに出展し、本事業のPR活動としてパネル展や、クイズ、子供向けの輪投げ・折り紙を実施

(2)広報活動実施計画

第3四半期は、地域住民向けの見学会についての案内を市広報誌に掲載する手配を行った。

計画	2024年4月～2025年3月までの間に2回以上、地域住民や地元教育機関向けに処理場施設見学会を開催
実績及び今後	8/20に三浦初声高等学校都市農業科の生徒を対象とした施設見学会を実施 地域住民向けの見学会の開催日を2/15に決定 また、市広報誌1月号に見学会の案内を掲載する手配を行った

(3) 地元企業の利活用に関する事項

第3四半期は、発注した改築・増築工事4件（管路施設工事2件、電気・機械工事2件）のうち、管路施設工事2件を地元企業へ発注した。

計画	以下の工事を地元企業へ発注することを目標に設定する ・改築工事（土木建築と管路施設） ・維持管理関連修繕工事 各種修繕工事（本管、マンホール、公共汚水ます）
実績及び今後	・発注した改築・増築工事4件のうち（管路施設工事2件、電気・機械工事2件）のうち、管路施設工事2件を地元企業へ発注した ・電気工事1件は地元企業辞退により市外企業へ発注予定 第4四半期は改築工事（土木建築）1件を地元企業へ発注予定である（第3四半期の期ずれ）

2-5.任意事業に関する計画

(1)下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業

第3四半期は、引き続き作物の栽培実証に向けた管理を行った。また、神奈川県立三浦初声高等学校との2回目の現地作業会を実施した。

計画	神奈川県立三浦初声高等学校都市農業科及び地元採用の栽培管理従事者とともに、下水熱を利用した栽培施設で作物の栽培実証実験を実施
実績及び今後	木造ビニールハウスにおける作物栽培を、地元採用の従事者とともに実施 三浦初声高校都市農業科の生徒との2回目の現地作業会を開催した（10/19） 1月以降は、引き続き高校との現地作業会の実施と、高校での出前講座の開催を計画

(2) B-DASH を活用した省エネ水処理技術導入

第3四半期は、第2四半期に行ったサンプル評価および実証技術の革新性を考慮し、B-DASH 提案方針を検討した。

計画	2024年4月～2025年3月までの間に、2025年度以降の国交省 B-DASH 事業応募に向け、関連する機械設備更新計画（メンブレン及び送風機）とのストックマネジメント計画を考慮した導入更新時期に関する調整含め、RBC（回転繊維ユニット）の導入を検討
実績及び今後	B-DASH 採択可能性等の考慮から、提案内容を返流水処理のパイロットプラント実証とする方針を提起、市と協議し、了承を得た 今後、実証試験要領の検討と、提案概要書作成を進める

(3)技術実証フィールドの提供

第3四半期は、技術実証フィールド事業開始に向け、各種検討の実施および三浦市への提案概要書提出を行った。

計画	技術実証フィールドの提供開始に向け、事業の運営体制、外部組織との連携、技術の要件定義等の検討を行い、受入体制を整備
実績及び今後	技術実証フィールド事業開始に向け、検討 WG を開催（10/17） 提案概要書の協議を三浦市と行い、11月に承諾（11/26） 今後、ホームページでの公募に向けた準備を進める

3.財務管理

3-1.財務状況

【単位：千円】

科 目	2024年度			
	計画(4月～12月) (A)	実績(4月～12月) (B)	差額(4月～12月) (C) = (B) - (A)	(参考) 計画 (2024年度通年)
経常収益				
利用料金	142,940	153,704	10,763	190,587
計画支援報酬	50,930	—	△50,930	50,930
営業外収益	—	234	234	—
経常費用				
売上原価	159,339	103,029	△56,310	195,475
販売費及び一般管理費	20,356	19,111	△1,245	26,996
営業外費用	4,839	4,860	21	6,452
経常損益	9,337	26,938	17,601	12,595

【利用料金】

三浦市の予測を計画値としており、収入が計画より約 1,076 万円上回った。

【計画支援報酬】

第 3 四半期発生予定の 5,093 万円が第 4 四半期へ期ずれとなった。

【売上原価】

①減少要因

- ・第 3 四半期発生予定の計画支援外注費 5,093 万円が第 4 四半期へ期ずれとなった。
- ・管路及び処理場・ポンプ場の修繕費について、計画額約 1,424 万円に対し約 1,009 万円の支出に留まったため、約 415 万円の乖離が生じた。
- ・太陽光発電及びデジタル情報基盤に係る保守費用の発生が想定より少なかったため、約 416 万円の乖離が生じた。

②増加要因

- ・汚泥処分費について、計画額に対し約 102 万円増加し乖離が生じた。

3-2.2024 年度 KPI（財務管理目標値）の状況

財務管理目標値について、達成状況を報告する。達成率は、各四半期時点での累積値である。

項目	目的	目標値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
経常収支比率	収支バランスの管理・持続可能性の確保	100.0%	168.7%	108.2%	114.9%	
売上高経常利益率	事業運営の収益性確保	5.2%	24.2%	18.7%	15.5%	
当座比率	短期的な財務健全性・継続性の確保	120.0%	265.6%	215.2%	152.9%	
自己資本比率	中長期的な財務健全性・継続性の確保	45.0%	52.9%	49.6%	45.4%	

4.2024 年度第 3 四半期時点での KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況

財務管理以外の目標値について、報告する。下記の表では、2024 年度末目標値に対する、KPI 達成率を記載している。

項目	内容	年度末目標値	単位	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間計	KPI達成度
【経営】コンプライアンス									
苦情・要望・相談等対応率	市民等から寄せられる苦情・要望・相談事項の対応率	100%	発生件数	4	0	2		6	100%
			対応件数	4	0	2		6	
コンプライアンス研修実施率	コンプライアンス研修の年間計画に対するの実施率	100%	計画件数	0	1	1	0	2	100%
			実施件数	0	1	1		2	
災害・事故対応訓練実施率	BCP内の訓練計画の計画に対するの実施率	100%	計画件数	2	3	0	1	6	83%
			実施件数	2	3	0		5	
BCP	BCP見直し・改定回数	100%	計画件数	1	0	0	0	1	100%
			実施件数	1	0	0		1	
【経営】環境対策									
下水道汚泥リサイクル率	汚泥発生量に対して、堆肥やセメント材料としてリサイクルされた割合	100%	汚泥発生量 (単位：t)	313.32	338.64	335.40		987.36	100%
			汚泥利用量 (単位：t)	313.32	338.64	335.40		987.36	
臭気・振動・騒音発生件数	臭気・振動・騒音に関する苦情の発生件数	0 件	発生件数	0	0	0		0	0件
【改築】品質管理・安全管理									
改築工事の進捗管理・遅延防止※ 1	計画に対する年度未完了見込率	100%	達成率	100%	100%	100%			
第三者災害・労働災害発生件数	災害の発生件数	0件	発生件数	0	0	0		0	0件
【維持管理】運転管理・保全管理									
放流水質の要求水準達成率※ 1	放流水質の要求水準達成率	100%	達成率	100%	100%	100%			
汚泥含水率の要求水準達成率※ 1	汚泥含水率の要求水準達成率	100%	達成率	100%	100%	100%			
管きょ調査率※ 2	管きょ点検・調査の実施率 (対計画比)	100%	達成率	11%	29%	96%		96%	96%
電力購入量削減率※ 2、※ 3	東部浄化センターの電力使用量に対する太陽光発電量の割合	20%	削減率	8%	17%	17%		17%	85%
その他									
ICT導入率※ 4	ICT導入に関する計画に対する実績値	100%	計画	2	0	0	4	6	33%
			実績	2	0	0		2	
帳票類電子化率	帳票類の電子化計画に対する実績値	100%	データドリブンによる事業運営の高度化に向けて、帳票類電子化計画を策定している。						

- ※ 1 年度末時点の累計の値で KPI 達成率を判定せず、四半期毎に KPI 達成率を確認している。
- ※ 2 各四半期の達成率は累計を記載している。
- ※ 3 電力購入量削減率については、関係機関との調整の結果、太陽光発電設備の稼働開始が 4 月から 6 月に変更となり 4・5 月の発電量が無いため 20% 未満となっている。
- ※ 4 ICT 導入率についての計画は下記のとおりである。
 - 第 1 四半期…メール、Web 会議導入の計 2 件
 - 第 4 四半期…岩浦、上宮田 2 号、上宮田 4 号の計 3 箇所のマンホールポンプクラウドサーバー化及び遠隔監視システム導入 1 箇所の計 4 件なお、第 1 四半期は導入済みの ICT 技術も含めた計画、実績数としている。